

JENESYS2018 大洋州第4陣（招へいプログラム）

（対象国：クック諸島、サモア、ツバル、ナウル、バヌアツ、パラオ、フィジー、マーシャル諸島、ミクロネシア連邦）
（テーマ：日本語・日本文化）の記録

1. プログラム概要

クック諸島、サモア、ツバル、ナウル、バヌアツ、パラオ、フィジー、マーシャル諸島、ミクロネシア連邦より「日本語・日本文化」に関心のある学生 23 名および引率者 2 名が、1 月 13 日～1 月 22 日の 9 泊 10 日の日程で訪日し、「日本語・日本文化」をテーマとしたプログラムに参加しました。一行は東京都内に加え、京都府を訪問し、日本の学生との交流やホームステイの他、プログラム中、日本の歴史文化に関する知見を深めるとともに、日本の生活への理解と関心を深め、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。

また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

学生：23 名（クック諸島 3 名、サモア 4 名、ツバル 1 名、ナウル 2 名、バヌアツ 1 名、パラオ 1 名、フィジー 2 名、マーシャル諸島 2 名、ミクロネシア連邦 7 名 ※50 音順）

引率者：2 名（クック諸島、フィジー）

【訪問地】

東京都、京都府

2. 日程

1 月 13 日（日） 成田国際空港より入国

1 月 14 日（月） 来日時オリエンテーション

【参観】日本科学未来館、お台場

1 月 15 日（火）～1 月 20 日（日）

京都府訪問

【日本語・日本文化】祇園縄手、辰巳橋、錦市場、伏見稲荷大社、三十三間堂、将軍塚、建仁寺、五重塔、清水寺、地主神社、京都マンガミュージアム

【交流】ホームステイ、京都外国語大学

【文化体験】抹茶、寿司づくり体験

地方プログラム終了後、帰京

1 月 21 日（月）報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）

【参観】ビックロ

1月22日（火）【参観】竹下通り、東京タワー
成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

	
1月14日 お台場	1月15日 新幹線（のぞみ）の車内
Jan 14th Visit to O-Daiba	January 15th Inside the train of a bullet train (Shinkan-sen)
	
1月15日 抹茶体験	1月16日 京都外国語大学
January 15th Tea ceremony experience	January 16th Kyoto University of Foreign Studies
	
1月16日 伏見稲荷	1月17-18日 ホストファミリーとの記念撮影
January 16th Fushimi Inari Shrine	January 17-18th Taking commemorative photo with host families

	
1月19日 清水寺	1月20日 京都国際マンガミュージアム
January 19 th Kiyomizu-dera temple	January 20 th Kyoto International Manga Museum
	
1月21日 アクション・プラン 報告会	1月22日 当会同行職員らとの写真
January 21 st Reporting session for action plans	January 22 nd Commemorative photo with accompanied staff

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ フィジー 学生

私は本当に、今回のホームステイの体験を楽しむことができました。本当に家族と過ごしているようで、ただ一つ、もっと一緒に時間を彼らと過ごしたいと願わずにはいられませんでした。

◆ クック諸島 学生

私にとって、最も良い時間がホストファミリーとの時間でした。ホストファミリーの皆さんは、本当の子供であるかのように私と接してくれ、とても歓迎してくれているのだといつわりなく感じられました。

◆ ミクロネシア 学生

私は、日本の人たちとコミュニケーションを楽しくとうと心がけました。お互い、お互いの言葉をよく知らないため、難しいところもありました。そこで、ジェスチャーを使ったり絵や写真をお互いに見せ合ったりして、それでお互いをよく理解することができました。またお互いしっかりと理解できない時にはお互いに笑い合い、それでより一層親しくなることができました。

5. 受入れ側の感想

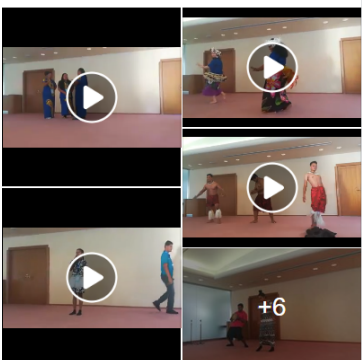
◆ ホームステイ受入家庭

今回、南太平洋大学からの学生さんを受け入れましたが、皆さん、明るくてフレンドで、1泊2日の短い時間でしたが、楽しく過ごして頂けて良かったと思います。ホストファミリーの皆さん同じ思いだと思います。ただ、全体的に、事前の頂ける情報がもう少し詳しく正確であれば、更に良かったと思います。

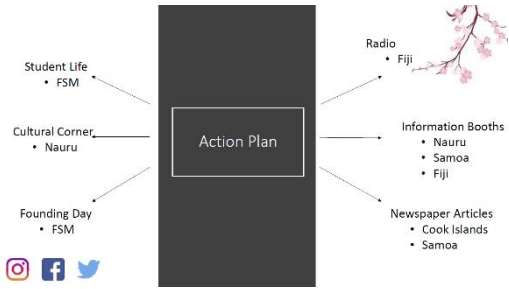
◆ ホームステイ受入家庭

二人とも、自分の意見をしっかり持った大人の女性でした。会ってすぐに好きになりました。一緒に野菜の天ぷらを作り、テーブルセットから片付けまで一緒にやって、まるで娘が二人で来たような楽しい一時でした。義母の入院先にも行ってもらいました。母の手を取っておデコにキスをして元気になるように励ましてくれました。母は涙を流して喜んでおりました。このような心優しい娘が二人できて嬉しいです。今でもメールのやり取りをしています。いつか再会できる時を心待ちにしております。このような機会を与えられたことを感謝しております。有難うございました。

6. 参加者の対外発信

	
Facebook にて発信	Facebook にて発信
Cultural performances at Kyoto University of Foreign Studies.	Kyoto-Maizuru & Homestay

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
• 学生生活の中での JENESYS の紹介と参加促進（ミクロネシア） • 文化紹介コーナーの設置（ナウル） • JENESYS 記念日（ミクロネシア） • ラジオ（フィジー） • インフォメーションブースの設営（フィジー、ナウル、サモア） • 新聞への寄稿（クック、サモア）	• ソーシャルメディアの活用 • 日本がどんな国か伝え、私たちの国をどのように（そうした日本の社会や技術等諸々に）適合させるべきかを伝える • この日本での経験を私たちの生活圏に伝え、私たちの文化を取り戻す、守る糧とする • また、言語や食文化といったような日本の伝統を自国に伝える
• Student life (FSM) • Cultural corner (Nauru) • Founding day (FSM) • Radio (Fiji) • Information booth (Fiji, Nauru, Samoa) • Newspaper articles (Cook, Samoa)	• Social media • Hands on telling of how Japan and how our individual countries should follow suit • Taking back a bit of culture with us in gifts for out home families and souvenirs • Also teaching our home countries a Japanese tradition such as language and cuisine